

○介護サービス事業所アンケート調査

項目	内容	備考
調査目的	第6期計画策定に向けて、介護サービス事業所を対象に、介護保険制度の問題・課題、介護サービスに対する実態やニーズを把握し、計画に反映させるため。	
調査内容	利用者の状況、職員体制、今後のサービス提供、サービス向上のための具体的な取り組みなど16項目について調査	
調査対象事業所	142事業所 平成26年3月に本町の被保険者が利用した十勝管内の介護サービス事業所	
調査実施日	発送日：平成26年 5月29日（木） 提出期限：平成26年 6月20日（金）	
回収率	回収枚数：99 回収率：69.7%	

介護サービス事業所アンケート調査 集計結果

◆問1 貴事業所が提供する介護サービスの種類に○を付けてください。
(あてはまるものすべてに○)

	回答数	割合
1 訪問介護	27	9.1%
2 訪問入浴介護	4	1.3%
3 訪問看護	10	3.4%
4 訪問リハビリテーション	2	0.7%
5 通所介護	35	12.0%
6 通所リハビリテーション	6	2.0%
7 福祉用具貸与	3	1.0%
8 短期入所生活介護	13	4.4%
9 短期入所療養介護	5	1.7%
10 居宅療養管理指導	0	0.0%
11 特定施設入居者生活介護	9	3.0%
12 居宅介護支援	18	6.1%
13 住宅改修	5	1.7%
14 福祉用具	6	2.0%
15 認知症対応型通所介護	3	1.0%
16 小規模多機能型居宅介護	7	2.4%
17 認知症対応型共同生活介護	10	3.4%
18 介護老人福祉施設	14	4.7%
19 介護老人保健施設	5	1.7%
20 介護療養型医療施設	1	0.3%
21 介護予防訪問介護	23	7.7%
22 介護予防訪問入浴介護	3	1.0%
23 介護予防訪問看護	6	2.0%
24 介護予防訪問リハビリテーション	1	0.3%
25 介護予防通所介護	25	8.4%
26 介護予防通所リハビリテーション	6	2.0%
27 介護予防福祉用具貸与	4	1.3%
28 介護予防短期入所生活介護	9	3.0%
29 介護予防短期入所療養介護	5	1.7%
30 介護予防居宅療養管理指導	0	0.0%
31 介護予防特定施設入居者生活介護	5	1.7%
32 介護予防支援	6	2.0%
33 介護予防住宅改修	5	1.7%
34 介護予防福祉用具	5	1.7%
35 介護予防認知症対応型通所介護	1	0.3%
36 介護予防小規模多機能型居宅介護	5	1.7%
37 介護予防認知症対応型共同生活介護	4	1.3%
38 その他	1	0.3%

◆問2 貴事業所の平成26年3月31日時点の音更町民の利用者数は何人ですか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 0人	7	7.1%
2 1人~10人	59	60.3%
3 11人~20人	16	16.3%
4 21人~30人	2	2.0%
5 31人~50人	6	6.1%
6 51人~100人	4	4.1%
7 100人以上	4	4.1%

◆問3 問2のうち、要支援1と2の利用者は何人ですか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 0人	54	57.4%
2 1人~10人	31	33.0%
3 11人~20人	5	5.3%
4 21人~30人	2	2.1%
5 31人~50人	1	1.1%
6 51人~100人	1	1.1%
7 100人以上	0	0.0%

◆問4 貴事業所の職員体制と職員の概数をお答えください。

1 常勤	回答数	割合
1人~5人	40	42.2%
6人~10人	17	17.9%
11人~20人	12	12.6%
21人~30人	6	6.3%
31人~50人	10	10.5%
51人~100人	8	8.4%
100人以上	2	2.1%

2 非常勤	回答数	割合
1人~5人	43	50.6%
6人~10人	24	28.2%
11人~20人	9	10.6%
21人~30人	5	5.9%
31人~50人	3	3.5%
51人~100人	1	1.2%
100人以上	0	0.0%

3 その他	回答数	割合
1人~5人	15	93.7%
6人~10人	1	6.3%

◆問5 貴事業者が実施している介護サービス向上のための具体的な取組について、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

	回答数	割合
1 サービス提供のためのガイドライン、マニュアルを作成	68	22.9%
2 事故防止のためのヒヤリ・ハット事例の収集及び職員間での共有	83	28.0%
3 利用者・家族への満足度調査	33	11.1%
4 外部評価機関への第三者評価委託	23	7.7%
5 事業所による内部評価を実施	41	13.8%
6 サービス提供困難事例等の検討会	41	13.8%
7 その他	8	2.7%
8 取組なし	0	0.0%

※問6～問8は、訪問介護・通所介護事業を実施している又は実施しようとしている事業所のみお答えください。

◆問6 今回の介護保険の見直しで要支援の方の訪問介護と通所介護が予防給付から地域支援事業に移行する予定です。貴事業所では、地域支援事業となっても利用者を受け入れますか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 はい	37	63.8%
2 いいえ	4	6.9%
3 わからない	14	24.1%
4 その他	3	5.2%

◆問7 問6で1と回答した事業所にお聞きします。介護報酬がどの程度だったら受けようと考えますか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 介護報酬がこれまでの予防給付費と同額なら受ける	29	70.7%
2 介護報酬がこれまでの予防給付費の9割以上なら受ける	7	2.4%
3 介護報酬がこれまでの予防給付費の9割未満でも受ける	5	1.7%

◆問8 問6で2と回答した事業所にお聞きします。その理由は何ですか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 介護報酬が安価	3	33.3%
2 需要の見込みが不明	4	44.5%
3 制度の仕組みが複雑	2	22.2%
4 その他	0	0.0%

◆問9 平成23年6月の介護保険法の改正で創設された定期巡回・随時対応型訪問介護看護について貴事業所では導入について検討されていますか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 はい	1	1.1%
2 いいえ	81	85.2%
3 わからない	11	11.6%
4 その他	2	2.1%

◆問10 問9で1と回答した事業所にお聞きします。開設はいつごろをお考えですか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 平成26年度	1	100.0%
2 平成27年度	0	0.0%
3 平成28年度	0	0.0%
4 平成29年度	0	0.0%
5 時期未定	0	0.0%

◆問11 問9で2と回答した事業所にお聞きします。導入が困難な理由は何ですか。(○は1つ)

	回答数	割合
1 介護報酬が安価で採算が取れない	5	6.2%
2 人員の確保が困難	32	39.5%
3 需要の見込みが不明	12	14.8%
4 この事業についてのノウハウがない	25	30.9%
5 その他	7	8.6%

◆問12 音更町で不足していると感じている介護サービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

	回答数	割合
1 訪問介護	2	1.9%
2 訪問入浴介護	6	5.6%
3 訪問看護	9	8.3%
4 訪問リハビリテーション	8	7.4%
5 通所介護	0	0.0%
6 通所リハビリテーション	3	2.8%
7 福祉用具貸与	1	0.9%
8 短期入所生活介護	3	2.8%
9 短期入所療養介護	3	2.8%
10 居宅療養管理指導	1	0.9%
11 特定施設入居者生活介護	3	2.8%
12 居宅介護支援	0	0.0%
13 住宅改修	0	0.0%
14 福祉用具	1	0.9%
15 認知症対応型通所介護	3	2.8%
16 小規模多機能型居宅介護	10	9.3%
17 認知症対応型共同生活介護	5	4.6%
18 介護老人福祉施設	14	12.8%
19 介護老人保健施設	2	1.9%
20 介護療養型医療施設	3	2.8%
21 介護予防訪問介護	3	2.8%
22 介護予防訪問入浴介護	1	0.9%
23 介護予防訪問看護	7	6.5%
24 介護予防訪問リハビリテーション	5	4.6%
25 介護予防通所介護	0	0.0%
26 介護予防通所リハビリテーション	2	1.9%
27 介護予防福祉用具貸与	1	0.9%
28 介護予防短期入所生活介護	1	0.9%
29 介護予防短期入所療養介護	0	0.0%
30 介護予防居宅療養管理指導	0	0.0%
31 介護予防特定施設入居者生活介護	1	0.9%
32 介護予防支援	0	0.0%
33 介護予防住宅改修	0	0.0%
34 介護予防福祉用具	1	0.9%
35 介護予防認知症対応型通所介護	0	0.0%
36 介護予防小規模多機能型居宅介護	2	1.9%
37 介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0.9%
38 その他	6	5.6%

◆問13 貴事業所では、音更町の福祉施策をどのように評価していますか。（○は1つ）

	回答数	割合
1 非常に満足	5	5.3%
2 やや満足	15	15.8%
3 満足	27	28.4%
4 やや不満	13	13.7%
5 非常に不満	0	0.0%
6 わからない	35	36.8%

◆問14 問13でお答えいただいた評価の理由をご記入ください。

主な回答

- ・ 医療・福祉に携わる人材の育成に関する施策や、行政と事業者間での情報交換をする機会が不十分に思います。
- ・ 人口に対しての介護サービスは充実していると思う。しかし多種多様なサービスが少ない。柔軟性に乏しい。
- ・ SOSネットワークなど、新しいサービスが導入され、今後も地域の方が安心して生活できるよう検討していただけたらと思います。

◆問15 貴事業所では今後の福祉施策に必要なことはどのようなことだと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

	回答数	割合
1 町独自サービスの充実	24	10.6%
2 福祉人材確保のための方策	58	25.7%
3 介護保険制度の周知	18	8.0%
4 介護事業者への情報提供	33	14.6%
5 認知症などの対策の強化	27	11.9%
6 低所得者対策	25	11.1%
7 事業者向け研修会等の実施	17	7.5%
8 事業者間の交流促進	22	9.7%
9 その他	2	0.9%

◆問16 最後になりますが、これまでにご記入いただいた他に、第6期介護保険事業計画策定に向けて、介護保険制度や高齢者をめぐる課題、問題点等、併せて町へのご意見、ご要望などがありましたらご記入ください。

主な回答

- ・ 各サービス間での連携が特に重要と思います。E x 病院→デイケア→デイサービスなど利用者の自立・在宅へ向けた調整が今のところ圧倒的に不足している。
- ・ 介護サービスの充実だけでなく、その予防・対策・支援に目を向けるべき。働く意欲のある方には、高齢者雇用支援や資源(就労の場)の開拓etc。障害福祉でも示しているように、高齢者においても自立を見据えた支援を考えていく必要があると思います。
- ・ 今後の福祉体制について、行政や地域包括支援の力が大きいと思います。介護・福祉・医療が一体となって増え続ける要介護者に備えるシステムを、どう構築するか考えてほしいと思います。又、福祉人材確保に向けての対策も敏速に進めてほしいと思います。